

LECは年金アドバイザー対策講座の受講でFP「継続単位」も取得できます！

# FP継続教育研修

2019年10月検定向け  
年金アドバイザー3級合格パック

FP認定者の  
皆さんへ！

AFPおよびCFP認定者は、2年ごとの資格更新があり、その間、継続教育としてAFPは15単位、CFPは30単位の取得が義務付けられています。LECの継続教育は、「単位」も「ステップアップ」も一挙両得です！

FP認定者の皆さん、LECの年金アドバイザー対策講座が、継続更新研修として日本FP協会に承認されました。この機会にゆとりある人生100歳時代に向けたライフプランの案内人、年金アドバイザーの学習を始めてみませんか？

●対象講座 「年金アドバイザー 3級合格パック」

●FP受験生割引のご案内 FP受験経験者の方は、早期割引価格よりさらに5,000円割引します！

対象者：FP受験経験者（年度不問）

必要書類：受験票など受験が証明できる書類

※受講料・割引の詳細はP.7をご参照下さい。

## 継続教育 Q&A

### Q1. 受講した講座を継続教育の単位とするには？

#### A. 通学で受講の場合…

最終の講義出席時に承認番号を記載した「受講証明書」をお渡します。

#### A. 通信で受講の場合

継続教育の利用手続きをした方は、答練の教材発送時にFP継続単位取得のための添削課題を同封します。受講終了後、添削課題を提出期限までにLEC宛にご提出ください。その返却時（約2週間後）に「受講証明書」を同封いたします。添削課題はオンラインスタディでもご入力頂けます。入力後、基準点以上の正解でその場で承認番号の確認が可能です。お急ぎの場合はオンラインスタディのご利用がおすすめです。

[ご注意]

▶必ず利用手続きが必要です。

利用手続きはLEC各本校窓口、コールセンターにて承ります。

▶期限は2019年11月末日（必着）です。

▶オンラインスタディをご利用の場合は継続教育添削課題の郵送提出は不要です。

### Q2. 単位数のカウント方法について

A. 通学で受講の場合は講義1時間につき1単位、通信クラスを受講の場合は講義1時間につき0.5単位で計算されます。

ただし、AFP認定者が一つの研修で取得できる単位数には7.5単位という上限が設けられています。このため「年金アドバイザー3級合格パック」を通学で受講すると、18時間の講義ですが7.5単位の取得となります。同様にCFP認定者について、一研修あたりの取得単位数の上限は、15単位となります。

### Q3. 受け取った「受講証明書」の取扱いは？

A. 受講者本人が大切に保管してください。再発行はいたしません。

### Q4. 資格更新時の手続は？

A. 資格更新手続時に、2年間の単位取得状況を報告します。また、FP協会の会員専用ホームページ「Myページ」上では、随時取得単位の管理ができます。なお本手続は、日本FP協会に対して行うものです。詳細はFP協会ホームページ、または会員誌「FPジャーナル」をご確認ください。

### Q5. 必要単位に関するご注意

A. 更新時に申請する継続単位の内訳には、次の制限があります。

●「FP実務と倫理」をAFP認定者は最低1単位以上、CFP認定者は最低2単位以上履修していること

●「FP実務と倫理」以外の6科目の中から2科目以上、履修していること この点にご注意のうえ、単位取得をお進めください。

## 継続教育単位数

受講形態		3級	
		認定対象	単位数
通学	Webフォロー付/DVDフォロー付	AFP	7.5
		CFP	15
通信	Web動画・音声ダウンロード・スマホ/DVD	AFP	7.5
		CFP	9.5

詳しくは、日本FP協会のホームページをご確認ください。  
<http://www.jafp.or.jp/kojin/keizoku/index/>